

津田左右吉物語

第21回

左右吉をとりまく人々

(白鳥庫吉博士)
くらきち

左右吉に学問研究の上で大きな影響を与えた人は白鳥庫吉博士です。

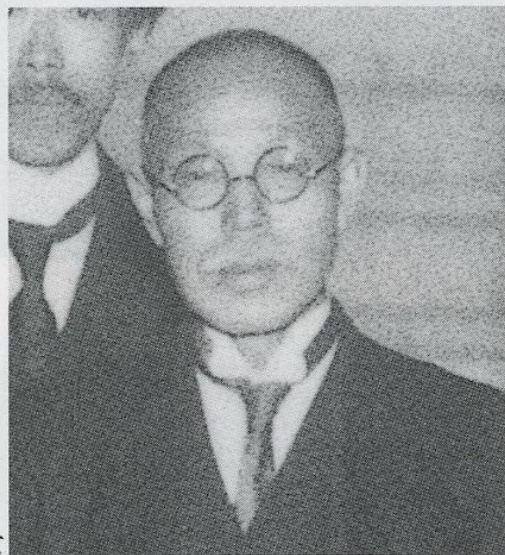
教育家の沢柳政太郎氏から「もつと有名な学者のもとで研究しては」と白鳥博士を

紹介されました。当時、学習院の新進教授であった白鳥博士とたびたび会ううちに、左右吉は学問としての歴史に興味を持ちました。

やがて、左右吉は白鳥博士に西洋史の教科書執筆を任されました。教科書を執筆するためにいろいろの書物を読み、勉強をしました。

白鳥博士の指導は、歴史的事実に筋道を立てること、文化史も歴史の動きの一つとして取り扱うこと。そして、東洋や日本との関わりについても記述することでした。この時、白鳥博士が東京大学在学時にドイツの歴史学者リース教授の下で学んだ講義ノートを借りて、歴史学の基礎を学びました。

教科書執筆は、左右吉にとって新しい発見の連続で、歴史に心ひかれるようになり、左右吉の一生を決定したといってもよい仕事でした。



▶ 白鳥庫吉博士